

令和4年度 日本大学認定こども園 自己評価票

【本園の目指すこども園像】

日本大学教育理念である「自主創造」に基づき、「のびのびと自己を発揮し、人と共に生きる子ども」を育てていくことを目指し、子どもの意欲や興味、関心、好奇心、探求心などの心情、考える力、学ぶ力を豊かに育てていく。

【本園の特長及び課題】

日本大学認定こども園は幼保連携型認定こども園である。幼児期の学校教育を担ってきた幼稚園と、養護・保育を主とした保育所機能を一体化して「質の高い教育・保育」を提供するとともに、子育て支援を軸とした、地域を支える機能を発揮していかなければならない。

令和4年度の実績結果

【概況】

- ・設立6年目、0歳児から5歳児までの園児189名が在籍する活気にあふれるこども園である。3年続くコロナ禍の中、本園が目指す「質の高い教育・保育計画」の実現に努め、子どもたちの健康な心と体と健やかな成長を確認することができた。
- ・月曜日から土曜日、7時15分～20時15分の開園時間中、利用者が乳幼児であることから、毎日の保護者対応は丁寧に行い、子どもの姿や成長を伝えている。
- ・本園に関心のある方を対象に園見学を行った。感染症対策として、1回の人数制限をしながら行った。前年を上回る150名以上の見学者を受け入れ、入園希望につながった。
- ・在宅で子育てをしている方を対象の子育て支援「おでかけひろば・しろつめくさ」を通年で行った。利用者数は累計350名の登録、1,000名以上の利用となった。子育てをしている方々がくつろぎながら、安心して子どもを遊ばせる場となり、また育児相談に応じ、利用者の支援を行った。
- ・もう一つの子育て支援である地域交流は、回数を増やすとともに、内容の充実を図った。おはなし屋、季節の製作活動、水遊び、すいかわり、運動遊び等、楽しく遊びながら、在園児と交流する場を作った。在園児と交流することで、本園の子どもたちの育ちや雰囲気を見ていただくことができ、入園希望につながった。

教育課程・指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
学びの芽生えを育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自ら環境に関わり、主体的に遊び、活動する環境を整えた。更に想像力を発揮し遊べるように、木製遊具を多く取り入れ、構築遊び・構成遊びができるようにした。 ・友だちと関わって遊ぶために、ごっこ遊びの用具や小物を手作りし、多く取り揃えた。 ・友だちが興味を持ったことを、自ら調べたり、お話を皆で楽しめたりするために、図鑑・絵本・紙芝居を揃えた。 ・戸外では、全身を使い、汗を流して遊ぶことを楽しむため、各年齢に合わせた集団遊びを計画的に取り入れ、固定遊具を利用した運動指導を行った。 	A
豊かな人間性を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の草花に集まる虫（ヤモリ・ダンゴムシ・アゲハ蝶・アリ・カエル・バッタ・コオロギ・セミ・かたつむり・クワガタムシ・カブトムシ等）などの飼育、観察を通し、もっと知りたい、なぜだろう、という好奇心や探求心を伸ばすことにつなげた。 ・様々な活動や行事を通し、友だちと協力し合う大切さや豊かな感情体験を学ん 	A

	<p>だ。外部講師による特別教育の活動を通し、交通安全、災害時における避難の仕方、ゴミ問題などに意識を持つこと等にも、視野を広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リトミック講師による音楽指導は、全身で音楽に触れ楽しみ、豊かな心を培った。 ・園庭の梅で子どもたちが作った「梅ジュース」や、芋堀り遠足で掘った「さつまいも」を近隣の方々に子どもたちが配り、近隣の方々との温かい交流を図った。 	
健康な身体作り	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱、食事、排泄、手洗い、うがい、片付け、身の回りの整理整頓等、生活に必要な基本的な生活習慣が身につくように、子ども一人一人の発達や個人差に寄り添い、日々丁寧に繰り返し指導した。0～2歳児クラスは乳児園庭、3～5歳児クラスは幼児園庭と、恵まれた園庭環境の下、一年を通し、体を思いっきり使い遊び、運動を計画的に行い、健康な身体と体力を作った。 ・運動講師による、毎週の運動指導は、運動遊びを通して身体を動かす楽しさ、友だちと協力し諦めずにチャレンジする力、自分の身体をコントロールしながら縄やボール等も上手く扱う力を育てた。 	A

園生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
安心・安全な環境と教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の3年目の今年度も、感染予防の徹底を図った。子ども、保護者、教職員の健康管理の徹底、大人の不織布マスク着用、園内各所、玩具の定期的な消毒、食事時のパーティション使用、行事の学年入替えなどの対策を行った。陽性者が出た場合は、速やかに情報の正確な収集と整理を行い、行政のガイドラインに沿って対応した。その結果、感染拡大やクラスターを防げた。 ・子どもが非常時に備えられるよう、毎月の避難訓練、消火訓練、不審者訓練、交通安全教育を、消防署・警察署・関係機関等と連携を取りながら実施した。 ・定期的な安全点検、午睡時の午睡チェック等を適切に行い、事故防止につなげた。 	A
伝統や四季を感じる行事と環境工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に日本の伝統的な文化・行事を取り入れ、日本の伝統文化に触れ楽しむ経験をした。更にはその経験を他国への関心につなげた。 ・季節感のある、製作、歌、食事、表現活動を計画的に行った。1年を通し四季を感じられるように野菜の栽培や花の苗を植えた。 	A
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動を通して、野菜の成長を観察するとともに、収穫と育てたものを味わう感動を経験した。 ・遠足で掘ったさつまいもを使つての茶巾絞り活動、手作り味噌活動を通し、食べ物への関心や作る人への感謝につなげた。 	A

情報提供・管理

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者への情報提供と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や活動を毎日の連絡帳やドキュメンテーションで保護者に伝えること、乳児の学年では保護者の新しく交流会を年2回実施したこと、運動会やこども会、作品展を通して子どもたちの積み重ねでの成長を見てもらうこと、これらを通して、子どもの育ちを保護者と共有することを大切にしたい。更に年2回の対面での保護者会、保育参観を実施し、園の方針の理解と子どもの 	A

	育ちにつなげた。	
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な更新を行い、園の取組や情報の発信で、本園の認知度と関心を高めた。 子育て支援専用ページを開設し、毎月発行する広報誌と合わせ、地域の保護者向け事業の告知等を含めた様々な子育て支援情報の発信を行い、本園の認知度と信用を高めた。 	A

管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
教員の意識向上の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 「世田谷区保育の質ガイドライン」「保育教諭ハンドブック」による、基本的事項の提示、面談を通じた自己目標に基づく取組とその振り返りや、職員会議、カリキュラム反省会議、学年会議、保育記録類への指導を通して、本園の目的や施策等の認識を確実にした。教員一人一人の成長を促した。 	A
本学学生・生徒との交流	<ul style="list-style-type: none"> 豊山女子高等学校の職場体験学習、生物資源科学部の学生との芋堀りの活動を通し、温かい交流の場を作った。 	A
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理委員を2名とし、毎月1回、会議を行った。怪我につながりそうな「ヒヤリハット」を振り返ることで、事故を未然に防ぐ手立てを教員が共有できた。子どもの怪我の場合は、迅速に対応し、必要な場合は受診につなげた。 熱性けいれんや食物アレルギー児は個別面談を行い、間違いのないよう対応した。 	A

保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者参加行事	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員である職員が、救命救急対応の指導を地域の方々に行った。 0～2歳児の学年で保護者交流会を実施した。保護者同士の交流が、子どもを通じた、ゆったりとした中で行われ保護者の子どもの理解につながった。 	A
第三者評価を生かす	<ul style="list-style-type: none"> 3年に一度の第三者評価を受けた。保護者、保育教諭の考えや意見に真摯に耳を傾け、園の抱える問題を把握し、より良い方向に向けた解決策を考え、園全体で取り組んでいく。 	A
個人面談	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談には迅速に対応し、面談を行った。丁寧な対応を心掛けた結果、共通の認識の下、子どもの育ちの情報共有と信頼関係構築につながった。 	A

地域との連携

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
近隣小学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防の観点から、近隣小学校の小学生との交流はできなかったが、就学に当たり、指導要録で子どもの姿や様子、育ちと学びを就学先に伝え、滑らかな接続とすることができた。 	B
保育ネット世田谷	<ul style="list-style-type: none"> 「仲間探しの時間」「集まれ！未来を担う保育士」「他園の良いところをのぞいてみよう！」などのテーマで実施し、日頃の情報共有と学び合いができた。 	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

令和5年度の取組目標及び方策

教育課程・指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
学びの芽生えを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自ら環境に関わって、主体的に遊べる場所を作り、学びの芽を育てていくことを目指す。 	通年
豊かな人間性を身につける	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな環境の中、昆虫、植物の世話や観察を通し、自然に興味・関心を持ち、大切に思う気持ちを育てる。 継続的な活動・経験・行事を通し、感情体験や気持ちのやり取り、共感を大切にし、コミュニケーション力、意欲、豊かな感情等を育てることを目指す。 	通年
健康な身体作り	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、各年齢の発達に沿って身の回りのことを自分で行えるようになることを目指す。 体を思いっきり使った園庭遊びや、運動を積極的に行い、健康的な身体作りを目指す。 	通年

園生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
安全・安心な環境と教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> 人権に配慮した教育・保育を行い、誰もが安心できる環境と教育・保育を目指す。 感染予防の徹底を図る。園内外、遊具の安全点検、午睡チェック、食事のアレルギチェックなど、安全な環境の提供を目指す。 災害時や不審者に対応できるよう、避難訓練の工夫を図る。 	通年
伝統や四季を感じる行事と環境工夫	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な文化・行事を積極的に教育・保育に取り入れながら、四季を感じられる行事食、季節感のある素材での製作、歌、表現活動を行う。 1年を通し、四季を感じられる自然豊かな園庭を作る。 	通年
食育	<ul style="list-style-type: none"> 季節の食材や行事食を取り入れ、豊かな食文化を目指す。 感染症対策を図り、皆で調理したり、一緒に食べる楽しさを味わったりするような環境を作る。 季節野菜の栽培を通して、食育につなげていく。 	通年

情報提供・管理

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者への情報共有と共有	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を保護者に伝えていくことを大切にし、また家庭の様子に耳を傾けながら、共に子どもを育てるという共通認識を持つことを目指す。 	通年

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や感染症など緊急かつ重要な案件について、保護者と教職員双方に速やかに、適切な情報提供を行うことを徹底する。 	
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な更新を行い、園の取組や情報を分かりやすく発信し、本園の認知度と信頼につなげていく。 	通年
第三者評価を生かす	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施した第三者評価の結果を園運営に生かしていく。 	通年

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
教員の意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区保育の質ガイドライン、保育教諭ハンドブック、非常勤・保育補助職員ハンドブックを基に、職員会議、カリキュラム反省会議、学年会議等、日々の指導を通して、園の目的や施策内容などの共通認識を促進していく。 ・計画的な研修を教員が受けることで、保育教諭としての意識向上と教育・保育の質向上を図る。 	通年
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全・安心を最優先に、事故や怪我を未然に防ぐため、毎日のヒヤリハットや事故の検証を生かす。 ・感染症対策、衛生・健康面の管理体制を徹底する。 ・避難訓練、不審者訓練等を実施していく。 	通年
本学学生・生徒との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山女子高等学校の体験学習や医学部附属看護専門学校の小児看護学実習生受入れや生物資源科学部の学生との交流を図り、スケールメリットを生かした活動を行う。 	通年

保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者参加行事	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の教育・保育の理念や方針の理解につながるよう、保護者参加の行事は、目的を明確にしながら工夫し行う。また、多くの保護者が参加できるよう日程に配慮する。 	通年
個人面談	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と園が共通の認識を持ち、子どもの成長を見守り促すために、保護者からの意見や要望に対して、個人面談等で、保護者理解に努める。 	通年
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で子育て中の親子や出産を控えている方が、気軽に遊びに来て、ゆったり過ごしたり、育児相談ができたりする場の提供を目指す。 	通年

地域との連携

取組目標	取組方策	取組スケジュール
近隣小学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期と小学校入学において、育ちと学びをつなげ、 	3学期

	連続性のある滑らかな接続ができるよう交流・連携する。	
近隣との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・梅ジュースや芋掘り遠足で収穫したさつまいもを近隣に子どもたちが配り、日頃の感謝を伝える機会とする。 ・近隣の意見に耳を傾け、丁寧に対応、説明し、より良い信頼関係を築いていく。 	通年・6月・10月
保育ネット世田谷	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時等の非常事態に備えての避難体制や、日頃の情報共有を行う。共に、学び合う。 	通年

中長期的目標及び方策

保護者との連携・子育て支援

取組目標	取組方策	取組スケジュール
地域子育て支援拠点事業及び子育て相談事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底しながら、人数制限を弾力的にし、より利用しやすい形にする。 ・在宅で子育て中の親子や出産を控えている方が気軽に遊びに来て、安心して育児相談ができる場の提供を目指す。 	通年

教育課程・指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
「心豊かな子ども」「友達と遊びを楽しむ子ども」「自ら環境に関わって考える子ども」を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人がかげがいのない個性のある存在として、その人権を尊重する。 ・子どもが環境に主体的に関わり、遊び、心身共に健やかに育つために、園内外環境の整備、工夫、教育・保育計画等の振り返りを行い生かす。 	通年

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
人的面での保育の質の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5歳児の学年1クラス(定員25名)は専任教諭による複数担任を継続する。 ・専任教諭、非常勤、保育補助の確保に努め、怪我や事故の軽減と、質の高い教育・保育を目指す。 	通年